

改正の概要

- ウエイトを0.20から0.25に引き上げる。
- 技術者数と元請完工高をそれぞれ数値化したものの合計値を評価することとし、技術者数と元請完工高の評点のバランスは概ね4:1とする。
- 技術者の重複カウントは、中小業者では技術者が複数業種に従事することも多いという実態に鑑み、1人あたり2業種まで認めることとする。
- 一定の要件を満たす基幹技能者について新たに加点する(一律3点)。
- 継続的教育を受ける技術者を評価する観点から、監理技術者講習受講者を優遇して評価する(プラス1点)。
- 評点テーブルを線形式化する。

評点の算出方法

(1) 技術職員評点の算出

- ・現行と同様に、28業種毎に技術職員数を数値化したものを評点テーブルに当てはめ点数化。
- ・評点テーブルは、現行の技術職員評点テーブルを参考に、線形式で新たに作成。

(2) 元請完工高評点の算出

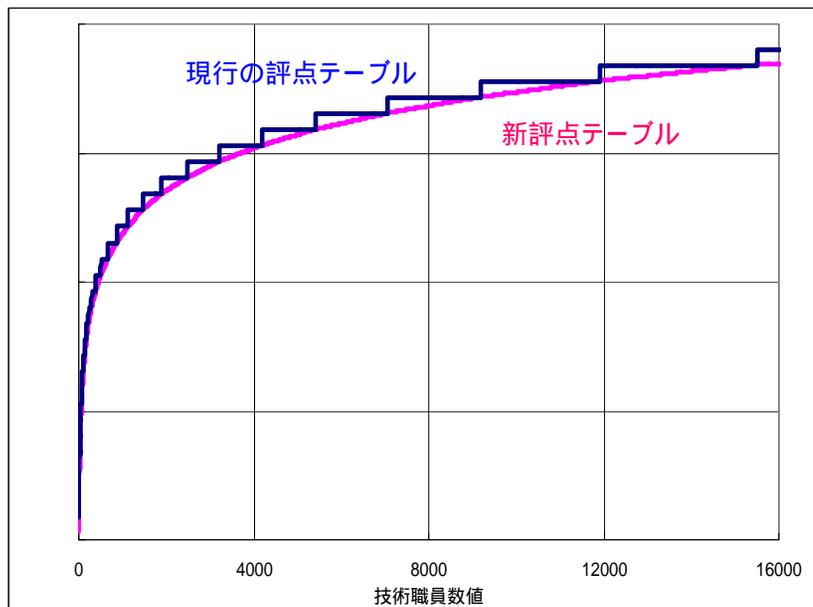
- ・元請完工高を業種毎に上限1000億円、下限ゼロの範囲内で点数化。
- ・評点テーブルは、評点の平均値が(1)と同程度になるよう、新たに作成。

(3) Z評点の算出

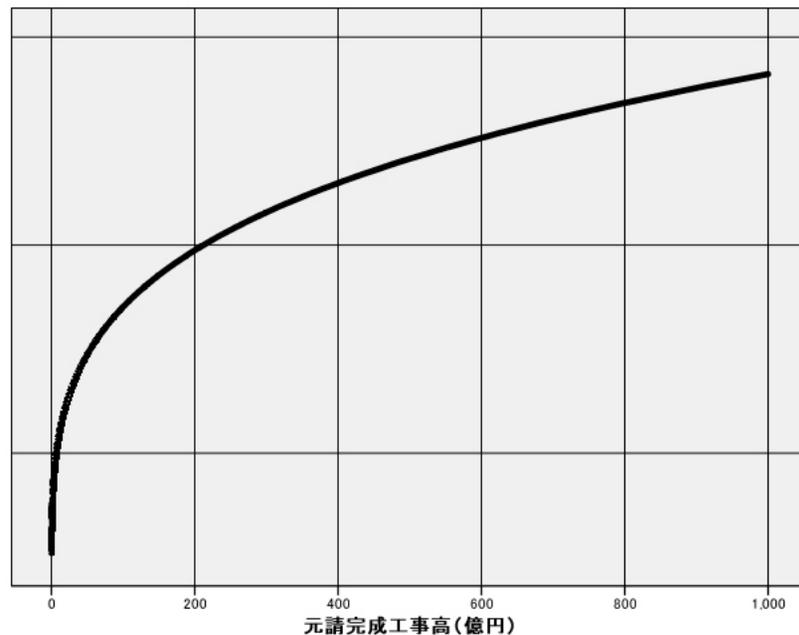
- ・上記(1)と(2)を4:1の割合で加重のうえ合算して算出。

(参考) Zの評点テーブルのイメージ

1. 技術職員数値の評点テーブル



2. 元請完工高数値の評点テーブル



3. Z評点の評点テーブル

